

【同朋の会・おみがき会 六月十九日】



# 本願力

連日の酷暑の中、新型コロナウイルス新感染者が各地で過去最高の数値を示す中にあって、東京オリンピックは開催されました。それまで開催に反対する声や懐疑的な声を大きく伝えていたマスメディアも開催されるとテレビ局は一日中実況中継や録画再生で報じ高視聴率を上げ、新聞各社も一面で日本人選手の活躍を掲載しました。その背景にはそれを望む多くの「国民」が居たということでしょう。メダルは選手や選手達が厳しい鍛錬の上に獲得したのであります。「國」が獲得したのではありません。屁理屈を言うなど叱られそうですが、歴史を辿れば、他国との戦争に勝つた勝つたと万歳三唱していた時の国民感情に通ずるものがあります。常にどこかで勝劣にこだわって生きていることのあらわれではないでしょうか。何でも比べて勝劣をつけたがる。世事だけではありません。

淨土宗の了惠という方が、法然上人の遺

南無阿彌陀仏

## 勝劣のことだわり

輪番 森田 成美

〒234-0051

横浜市港南区日野一一一一八

FAXTEL  
(○四五)八四一ー三四二八  
(<http://www.yokohama-ootani.com>)

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

文法語を編纂した『和語灯籠』の中に、念佛の勝劣を問う話が出てきます。

「問うていはく、聖人の申す念佛と、在家のものの申す念佛と、勝劣いかむ。答えていはく、聖人の念佛と、世間者の念佛と、念佛と、妄心の中の念佛と、その勝劣いかむ。答えていはく、その功德ひとしくして、またくかはりめあるべからず。」「問うていはく、心のすむ時の念佛と、妄心の中の念佛と、その勝劣いかむ。答えていはく、その功德ひとしくして、あえて差別なし。」

お念佛をも勝劣ではかろうとするのです。問者は尚不審をつらねます。いわゆる精進潔斎して申す念佛はどうとく、煩惱にまみれて申す念佛はおどるでしよう。上人の答えは阿彌陀仏の本願のゆえを知らないからそのような疑いをするのだと。阿彌陀仏の本願は善惡をへだてず、持戒・破戒をきらわず、在家・出家をもえらばず、有智・無智をも論じないのだと。

また、心のすむ時の念佛はまじわるものがないから清浄の念佛で、心の散乱する時は形ばかりで不浄の念佛でしよう、どうしてひとしいと言えるでしよう。それに對し、阿彌陀仏はそういう悪業の衆生をすくうために迷いの海に誓いのふねをうかべて下さつたのであり、そのふねにはおもき石もかろきあさがらもひとつに入れてむかいの岸にとどけて下さるのであると答えておられます。

同じ疑問が私の中にはないでしようか。オリンピックからお念佛まで勝劣にこだわる私の姿がそこに現れているのです。

## — 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 — 2021年9月~11月

～どなたもご自由にお参りください～

**秋季彼岸会法要 午後1時30分より  
9月25日(土)・26日(日)**

**【法話】高濱 浩暢 師(開教者会 正勸寺)**  
 お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時です。有縁の皆様におかれましては、ぜひご参詣ください。

**定例法話 午後1時30分より**

9月28日(火)別院 輪番 森田成美 師  
 10月9日(土)開教者会 六縁寺 佐々木健太 師  
 10月28日(木)別院 輪番 森田成美 師  
 11月9日(火)横浜組 南福寺 工藤貴弘 師  
 11月28日(日)別院 輪番 森田成美 師  
 ※法話終了後の「座談会」は休止中です。  
 ※「正信偈の会」は休止中です。

**横浜別院同朋の会・おみがき会**

10月2日(土) 10時30分~12時  
 本堂の仏具を磨きます。弁当あり。  
 ※古くなったタオルをお持ちください。

**【9月行事一部中止・参詣者の皆様へ】**

緊急事態宣言が9月12日まで発出されたことを受けて、下記の行事を中止させていただきます。今後については、隨時、最新情報をおHPや電話等でご確認ください。

**【中止】グリーフケアのつどい (9月4日)****定例法話 (9月9日)**

尚、参詣者の皆様にはマスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など、十分な予防対策をお願いしております。

**《別院声明儀式研修会のご案内》**

**【日時】9月30日(木) 14時~16時**

**【内容】「横浜別院報恩講・習礼」**

**【参加費】無料 ※寺院対象の研修会**

**【持ち物】間衣・輪袈裟『大谷声明集』等**  
 報恩講に出仕を予定されている方は積極的にご参加ください。ご参加の方は、お手数ですが、別院まで電話、FAX、メール等で事前に申し込みください。

**報 恩 講※詳細は別紙の報恩講案内**

**10月18日(月) チラシをご覧下さい**

午後1時 初逮夜法要

午後2時 法話(雲井一久 師:真照寺)

・午後3時15分 御伝鈔拝読

**10月19日(火)**

午後1時 結願逮夜法要・御俗姓拝読

午後2時 法話(本多暁 師:稱名寺)

**10月20日(水)**

午前10時 結願日中法要

午前11時 法話(海法龍 師:長願寺)

※お斎(食事)は中止させていただきます。

**緊急事態宣言の発出等により、急遽、日程変更の場合があります。最新情報をHPや電話等でご確認ください。**

**グリーフケアのつどいのご案内**

**【日時】10月2日(土) 午後2時~  
 12月11日(土) 午後2時~**

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めてグリーフケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。

今年も残すところ四ヶ月となりました。いつの間にそんなに月日が経つたのか、私はその時間を一体何をしていたのか、そんなことを感じています。  
 これから秋へと入ってきますので、お彼岸や報恩講の季節となります。ですが、相変わらずコロナ禍と呼ばれる状況が世界中で続いています。昨年この時期を思い返すと、「来年にはワクチンが普及して、きっと収まっているだろう。」と何となく楽観的希望を持つようになりました。あれから一年後、状況は益々深刻になり、日々、世界が変化しています。それに対応するにも限界があり、本当に人は対応することができます。私自身は不思議な気持ちは抱いています。人間にはできる事しかできません。できる事をしながら、ご参詣お待ちしております。(家本)

**編集後記**